

<コラム>

H19地価公示概況(2007.3.27)

(全国の概況)

三大都市圏及び地方中心都市の一部に地価の上昇傾向が見られる。同時に地方全体としては引き続き下落傾向が見られる。数値で見ると、全国平均で住宅地+0.1%(昨年▲2.7%)商業地+2.3%(▲2.7%)となり、平成3年以来16年ぶりに上昇となった。

(兵庫県)

・住宅地

平均で+0.8%(昨年▲2.0%)で、平成3年以来16年ぶりに上昇に転じた。

阪神南地域と神戸市東部の上昇が目立ち、西宮市の一部を除く全ての地点で上昇した。上昇率5%以上の地点が55.8%を占めた。

他方、神戸市垂水区、北区、西区、明石市、姫路市でも9年ぶり、神戸市兵庫区では16年ぶりに上昇地点が現れた。

・商業地

平均で+1.3%(▲2.8%)で、平成3年以来16年ぶりに上昇に転じた。

神戸市東部と兵庫区、阪神南地域では、灘区の1地点を除く全ての地点で上昇した。神戸市三宮地区の商業地4地点で20%以上の上昇率もみられた。

都 市	住宅地(昨年)(%)	商業地(昨年)(%)
神戸市	+0.6(▲2.9)	+6.4(▲0.6)
尼崎市	+2.5(▲1.2)	+3.9(+0.7)
西宮市	+5.9(+2.4)	+5.3(+0.7)
芦屋市	+8.8(+3.7)	+6.2(+1.7)
明石市	▲1.2(▲3.6)	▲2.5(▲4.8)
加古川市	▲2.3(▲5.0)	▲1.8(▲5.6)
姫路市	▲1.6(▲5.1)	▲1.3(▲5.3)